

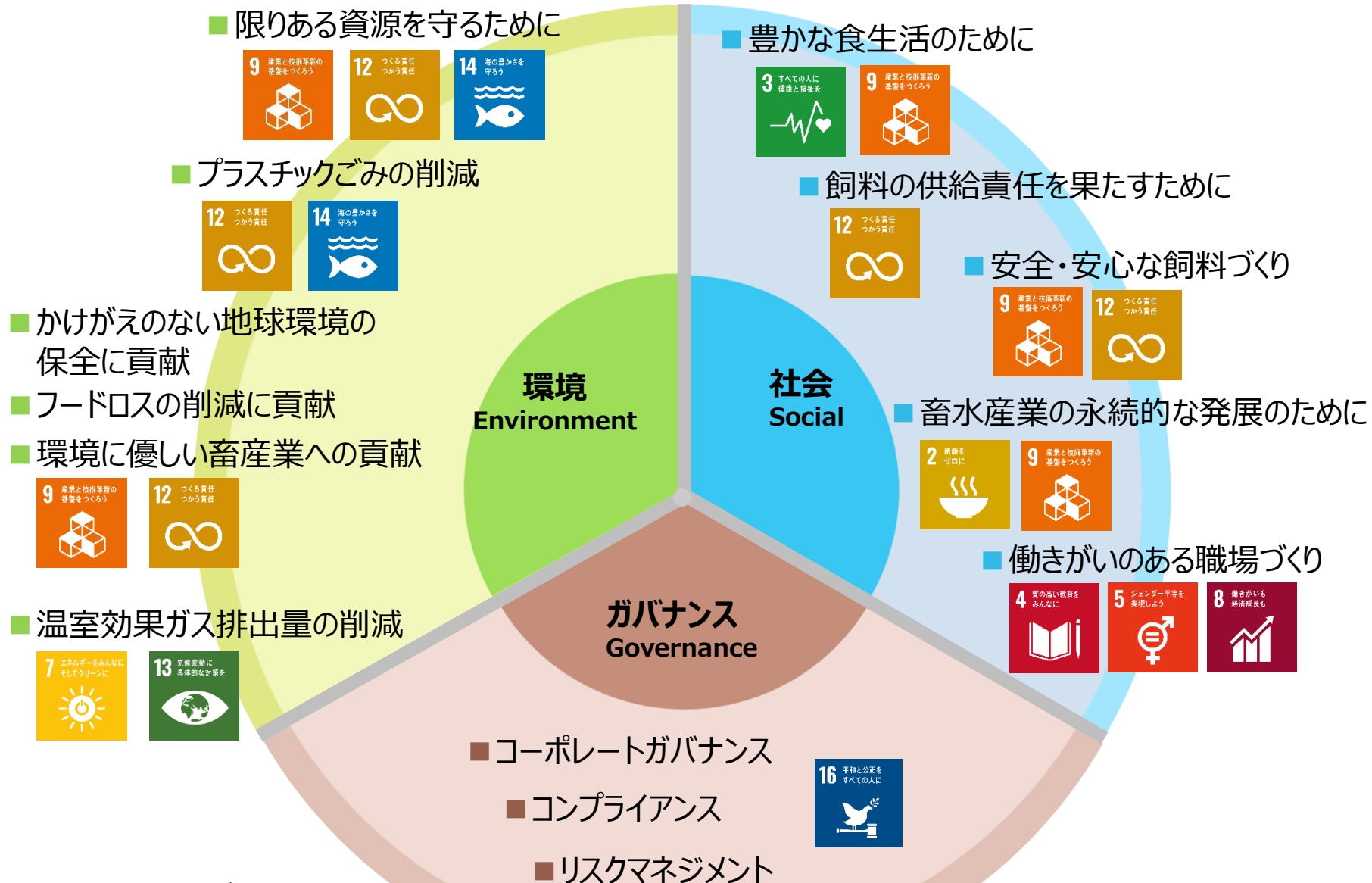
個人投資家様向け会社説明資料

サステナビリティの取組み

東証プライム・名証プレミア 証券コード：2053

ホームページ <https://www.chubushiryo.co.jp/>

お問い合わせ先 TEL: 052-204-3050 総務人事部 総務課



※詳細は、当社HPのサステナビリティ
 (<https://www.chubushiryo.co.jp/sustainability/>) ご参照

サステナビリティ委員会

- ◇ 持続的な成長、中長期的な企業価値向上の実現を図る
- ◇ サステナビリティに関連するリスクおよび機会の分析や対応策の検討

Environment（環境）の主な取組

- ◇ 環境に配慮した飼料の開発・販売の強化
- ◇ 温室効果ガス排出量の削減

Social（社会）の主な取組

- ◇ 働きやすく働きがいのある職場づくり
 - 安全な職場環境の実現
 - 働き方改革に対応する制度構築
- ◇ 人的資本へ積極的に投資
 - 人材の確保、育成等

Governance（ガバナンス）の主な取組

- ◇ 取締役会の実効性向上
- ◇ リスクマネジメントの実効性向上
 - リスク管理委員会活動の推進

環境の主な取組：環境に配慮した飼料の開発・販売

環境に配慮した飼料の販売及び開発の状況

販売中

- 採卵鶏用 鶏糞量の低減に繋がるKDシリーズ、窒素の排出を抑制する飼料
- ブロイラー用 床湿りの改善に繋がる配合設計を適用した銘柄
- 養豚用 食べこぼし削減により豚舎環境の改善に繋がる食べやすい形状の飼料
- 水産用 水産業界の持続可能性向上に繋がる低・無魚粉飼料

開発中

- 養豚用 排泄物の窒素低減に繋がる飼料
- 養牛用 温室効果ガス減少に繋がる飼料



環境の主な取組：温室効果ガス排出量の削減

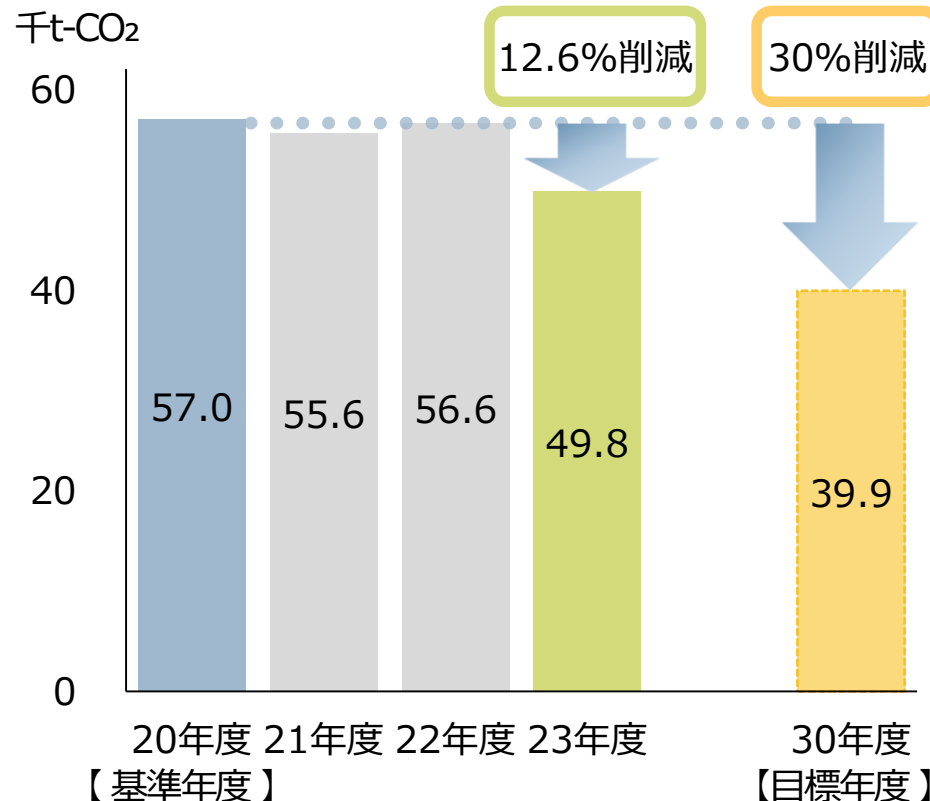
温室効果ガスの削減

【指標】当社グループ（国内）の温室効果ガス排出量（Scope 1 + 2）

【目標】2030年度に2020年度比 30%削減

※ Scope 3 については、仕入先・顧客とともに具体的な取組みを推進する

温室効果ガス排出量



2023年度実績

- ◇ 排出量 49.8千t-CO₂
 （基準年度比 △12.6%）
- 省エネ取組みの着実な進展
- 一部の工場における再生可能エネルギー由来の電力プランへの切替え実施

社会の主な取組：人的資本への投資

基本方針

- ◇ 従業員一人一人が企業の成長を生み出すとの考えのもと、
「常に変革を目指し、自ら考え行動する人材」を確保・育成・活用する。
- ◇ その人材が働きやすく、働きがいのある会社とする。
- ◇ これらの実現のために、積極的に人的資本への投資を行う。

重点施策

- ◇ **ESの向上**
 - 継続的な処遇改善や社員エンゲージメントの向上
- ◇ **人材採用・育成**
 - 積極的な採用、多様性をはぐくむことのできる人材育成の実行
- ◇ **働き方の変革対応**
 - 柔軟な働き方の実現

私たち中部飼料グループは、「特性ある仕事をして社会に貢献する」という社是のもと、事業活動を通じて環境・社会課題の解決に取り組み、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指します。

1. 環境負荷の低減に寄与する製品の開発・提供や廃棄物の削減、事業活動におけるCO₂排出量の削減により、気候変動の緩和や自然環境の保全に貢献します。
2. 食品副産物の積極的利用や廃棄物を資源化する製品の開発・提供により、資源保護に貢献します。
3. 品質の高い飼料を安定供給することで、お客様の特性ある畜水産物づくりに寄与し、人々の健康で豊かな食生活に貢献します。
4. 社会課題を解決する製品・サービスの提供を通じて、永続的な農業・畜水産業の発展に貢献します。
5. 法令を遵守し、倫理観のある行動をするとともに、ガバナンス体制を強化することで、社会に信頼され続ける企業を目指します。



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。